

平成29年 火災・救急・救助統計



瀬戸市消防本部

火災

出火件数 38 件（前年比 2件増）
 死者 0 人（前年比 増減なし）
 負傷者 4 人（前年比 1人減）



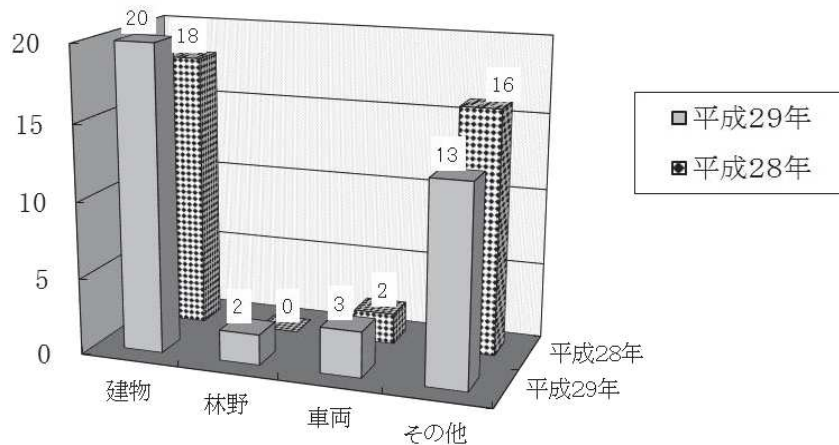
1 火災概要

平成29年の出火件数は38件で、昭和45年に現在の方法で統計を取り始めて以来、3番目に少ない出火件数となりました。

火災種別は「建物火災」が20件で最も多く、全体の過半数を占め、次いで「その他火災」が13件、「車両火災」が3件、「林野火災」が2件と続いています。

前年に比べ「建物火災」が2件、「車両火災」が1件、「林野火災」が2件それぞれ増加し、「その他火災」は3件減少しました。

また、火災による死者は発生しませんでした。煙を吸うなど、負傷者が4名発生しました。



火災発生状況

区分 月別	出火件数						焼損棟数	焼損面積		損害額 (千円)	死傷者		
	計	建物	住宅	林野	車両	その他		建物 m ²	林野 a		死者	住宅	負傷者
1月	6	5	4	0	0	1	5	3	0	25	0		0
2月	6	2	2	1	0	3	2	0	2	9,121	0		0
3月	9	5	4	1	0	3	8	192	1	5,495	0		1
4月	2	1	1	0	1	0	1	47	0	7,985	0		0
5月	2	1	1	0	1	0	1	2	0	6,537	0		0
6月	5	0		0	1	4	0	0	0	44	0		2
7月	3	3	1	0	0	0	3	0	0	10	0		0
8月	1	1		0	0	0	1	0	0	1	0		0
9月	2	1	1	0	0	1	2	81	0	5,054	0		0
10月	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0
11月	1	1	1	0	0	0	2	108	0	1,828	0		1
12月	1	0		0	0	1	0	0	0	0	0		0
計	38	20	15	2	3	13	25	433	3	36,100	0		4
平成28年	36	18	12	0	2	16	21	364	0	40,556	0		5

2 焼 損 状 況

建 物	433	m ²	(前年比	69m ² 増)
林 野	3	a	(前年比	3a 増)
焼損棟数	25	棟	(前年比	4棟増)



前年に比べ焼損面積は建物で69m²、林野で3a それぞれ増加しました。

焼損棟数は4棟増加しました。

3 損 害 額

総 額	36,100	千円	(前年比	4,456千円減)
-----	--------	----	------	-----------

平成29年の損害額は36,100千円で、4,456千円減少しました。

最近10年間では、平成27年の26,840千円に次いで2番目に少ない損害額でした。

4 初期消火実施状況

平成 29 年中

区 分 火災種別	火災件数 (A)	初期消火 実施件数 (B)	初 期 消 火 の 種 類				実施率(% (B)/(A)	平成 28 年 実施率(%)
			消火器	水バケツ	水道水・ 汲み置き水等	その他		
建物火災	20	15	6	1	7	1	75.0	55.6
林野火災	2	0	0	0	0	0	0.0	0.0
車両火災	3	2	2	0	0	0	66.7	100.0
その他火災	13	7	2	1	3	1	53.8	68.8
合 計	38	24	10	2	10	2	63.2	63.9

5 連区別火災発生状況

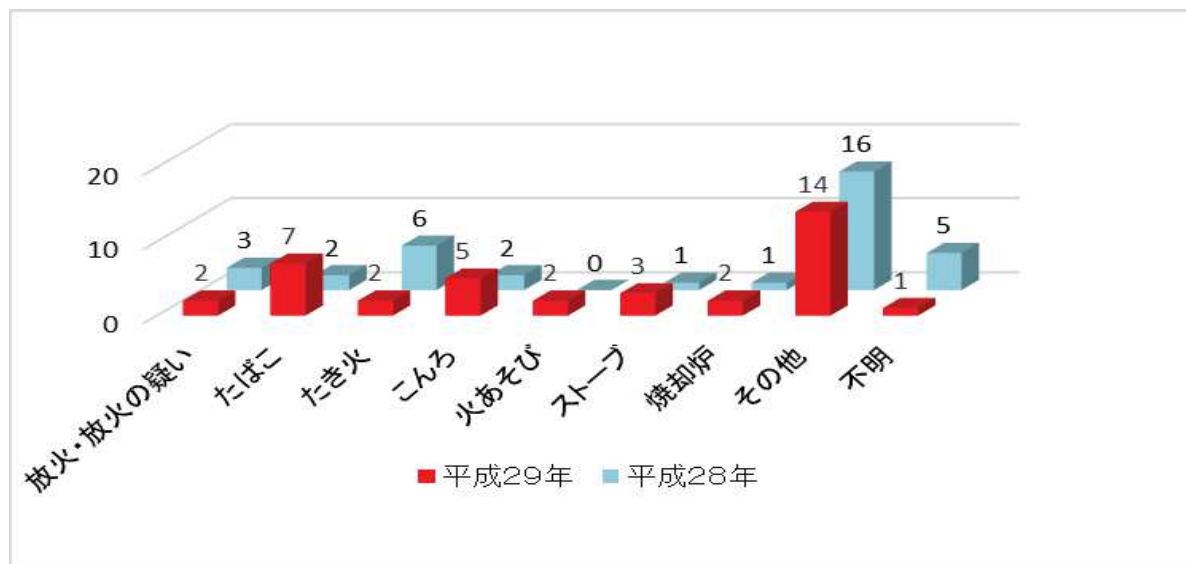
火災発生状況を連区別でみると、水野連区が6件で最も多く、次いで古瀬戸連区が4件となっています。無火災連区は、萩山台と八幡台の2連区でした。

連区別火災発生状況

連区別 区分	計	道 泉	深 川	古 瀬 戸	東 明	祖 母 懐	陶 原	長 根	效 範	水 南	水 野	西 陵	原 山 台	萩 山 台	八 幡 台	品 野	下 品 野	山 口	本 地	菱 野	新 郷
建物	20	1	1	3	0	1	0	0	2	1	2	1	1	0	0	0	1	2	1	2	1
林野	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
その他	13	0	0	0	2	0	1	1	1	2	3	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
計	38	1	1	4	2	1	1	1	3	3	6	2	1	0	0	1	2	3	3	2	1
平成28年	36	0	0	2	3	1	0	2	2	2	5	0	1	1	1	5	4	0	2	4	1

6 出火原因

- 1 位 たばこ 7件（18.4%）
- 2 位 こんろ 5件（13.2%）
- 3 位 ストープ 3件（7.9%）



《出火原因の第1位は「たばこ」》

出火原因別にみると、「たばこ」が7件で最も多く、次いで「こんろ」が5件、「ストーブ」が3件という状況でした。

「こんろ」や「ストーブ」の増加が、住宅火災の増加につながっています。

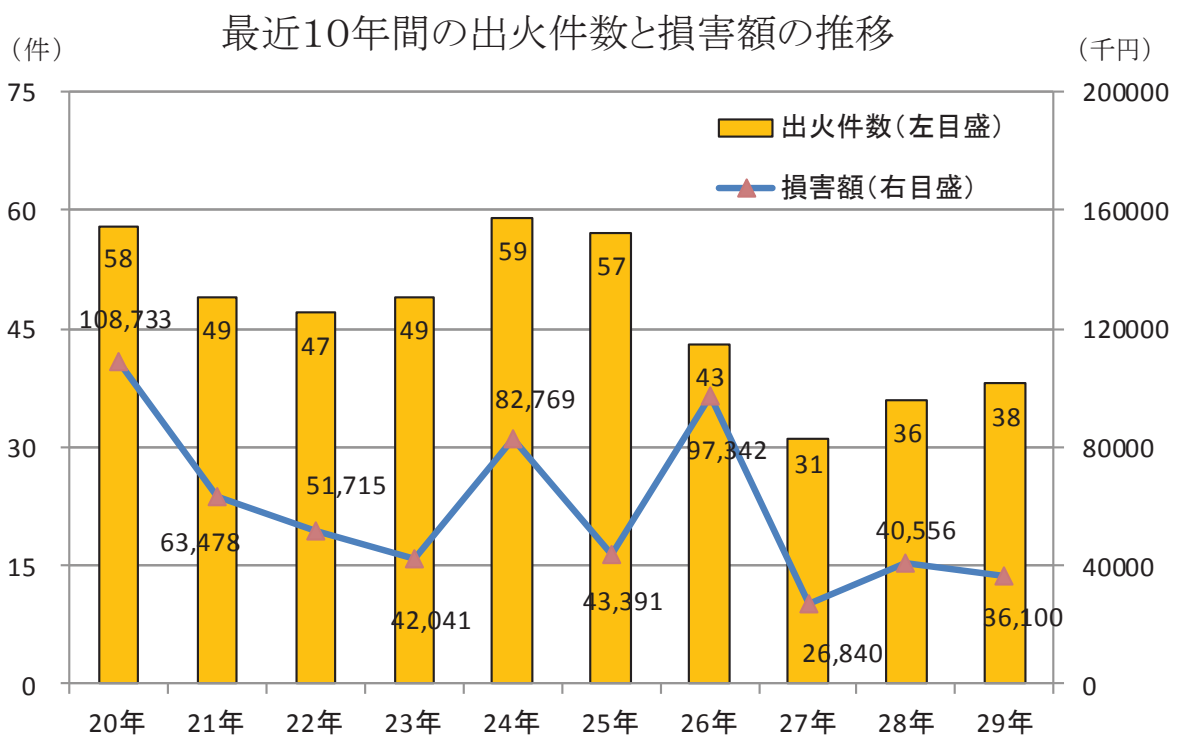
「放火・放火の疑い」は2件で、安心・安全パトロールなどの取組みにより、過去10年間で最少となりました。

7 火災発生状況の推移

平成29年の出火件数を最近10年間の平均値と比較すると、「建物火災」は20件で同数、「林野火災」は4件、「車両火災」は1件、「その他火災」は4件、それぞれ下回りました。

また、同様の比較で、建物焼損面積は196㎡、損害額は23,197千円下回りました。

年 別	出 火 件 数						焼 損 面 積		死 傷 者 数		損 害 額 (千円)
	合計	建物	住宅	林野	車両	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
平成20年	58	26	18	7	7	18	1,300	24	2	6	108,733
平成21年	49	18	11	10	3	18	310	25	2	10	63,478
平成22年	47	21	15	9	2	15	532	17	3	3	51,715
平成23年	49	21	10	8	5	15	619	188	3	6	42,041
平成24年	59	19	7	6	9	25	1,125	53	2	5	82,769
平成25年	57	21	13	9	4	23	498	79	1	8	43,391
平成26年	43	16	12	6	7	14	773	15	1	6	97,342
平成27年	31	15	8	2	2	12	334	47	1	6	26,840
平成28年	36	18	12	0	2	16	364	0	0	5	40,556
平成29年	38	20	15	2	3	13	433	3	0	4	36,100
10年間平均	47	20	12	6	4	17	629	45	2	6	59,297



救急

救急出動件数 5,340件(前年比 36件増)

救急搬送人員 5,077人(前年比 14人増)

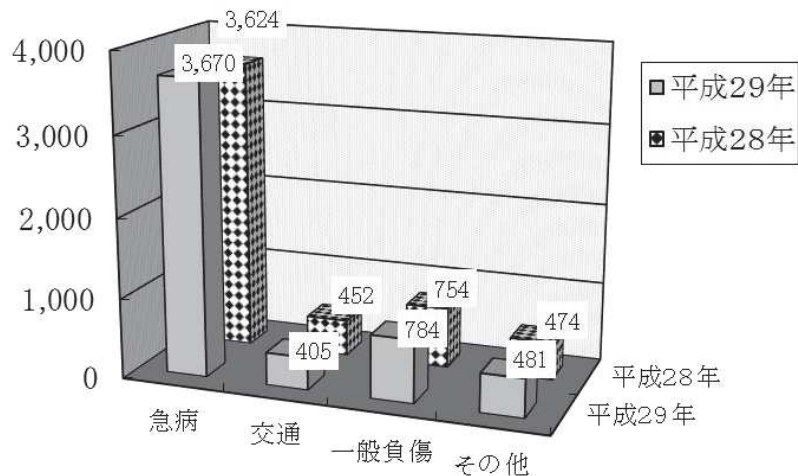


1 救急概要

救急出動件数は5,340件で、前年に比べ36件増加し、7年連続で5千件を超えました。月平均でみると445件、一日平均では14.6件という状況でした。

救急搬送人員は5,077人で、前年に比べ14人増加し、過去最高となりました。

事故種別でみると、「急病」が3,670件で全体の68.7%を占め、次いで「一般負傷」が784件(14.7%)、「交通事故」が405件(7.6%)という状況でした。



月別救急出動状況

区分 月別	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
1月	502	0	0	0	25	5	1	76	0	1	366	28
2月	422	0	0	0	21	5	1	61	0	5	303	26
3月	423	1	0	0	30	4	9	73	2	2	279	23
4月	405	0	0	0	44	1	6	53	0	2	271	28
5月	435	0	0	0	29	0	7	64	1	6	303	25
6月	402	1	0	0	26	4	4	58	3	3	271	32
7月	473	0	0	0	37	4	7	57	4	4	339	21
8月	460	0	0	0	37	3	6	68	2	3	311	30
9月	440	0	0	0	42	3	5	56	0	5	307	22
10月	434	0	0	0	46	10	5	80	3	4	258	28
11月	440	1	0	0	30	2	4	58	2	1	318	24
12月	504	0	0	0	38	3	3	80	2	5	344	29
計	5,340 (5,077)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	405 (393)	44 (42)	58 (54)	784 (756)	19 (17)	41 (30)	3,670 (3,505)	316 (277)
平成28年	5,304 (5,063)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	452 (454)	60 (54)	44 (44)	754 (748)	12 (8)	43 (30)	3,624 (3,450)	310 (270)

【備考】()内は、救急搬送人員を示す。

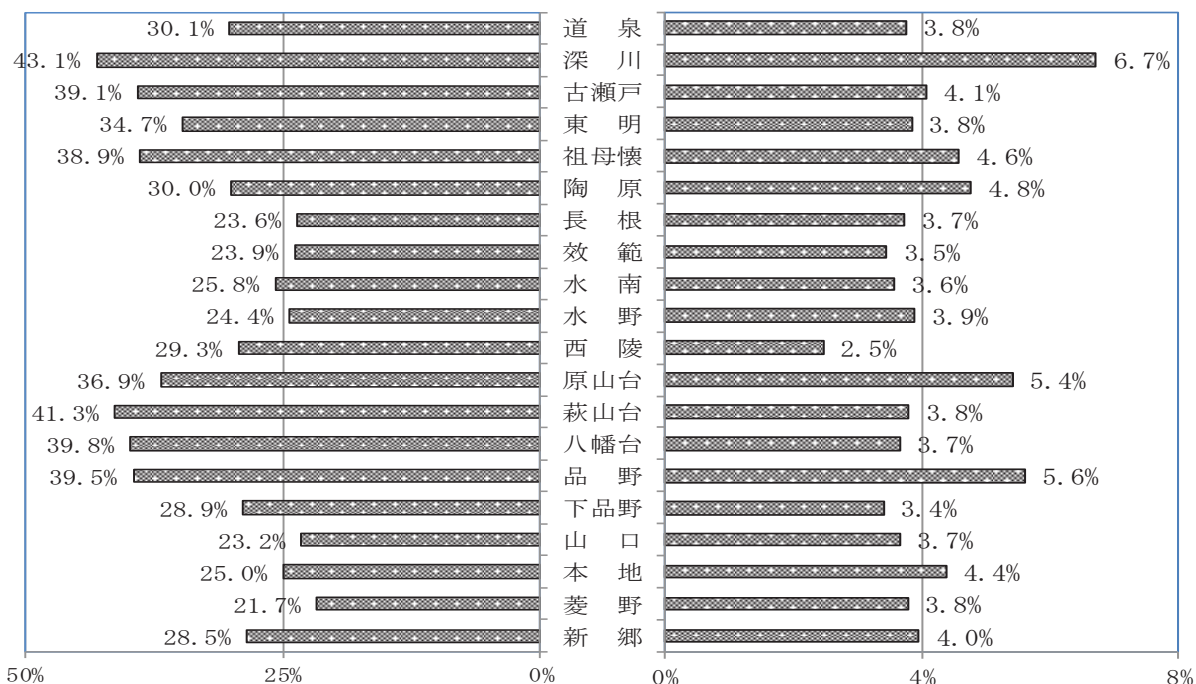
2 連区別救急搬送人員

区分	急病	一般負傷	交通事故	その他	合計
道 泉	109	28	8	9	154
深 川	115	26	9	8	158
古瀬戸	116	20	5	1	142
東 明	80	24	19	4	127
祖母懐	95	19	3	13	130
陶 原	258	55	21	29	363
長 根	244	48	36	18	346
效 範	435	88	32	87	642
水 南	247	49	27	65	388
水 野	239	51	41	40	371
西 陵	144	35	14	10	203
原山台	178	21	13	13	225
萩山台	109	25	2	1	137
八幡台	141	31	1	4	177
品 野	112	34	30	19	195
下品野	191	36	22	9	258
山 口	224	47	33	33	337
本 地	165	36	39	11	251
菱 野	125	41	12	22	200
新 郷	167	39	20	27	253
管区外	11	3	6	0	20
合 計	3,505	756	393	423	5,077

【備考】「その他」とは、「急病」、「一般負傷」及び「交通事故」以外の事故種別をいう。

老年(65歳以上)人口率(市平均 28.6%)

救急搬送率(市平均 3.9%)

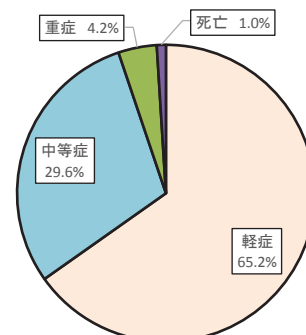


【備考】人口は平成29年4月1日のデータによる。

3 傷病程度別搬送人員

救急搬送人員のうち、死亡、重症及び中等症を合わせた傷病者の割合は全体の34.8%、軽症の傷病者は3,310人(65.2%)でした。

程 度 別	搬 送 人 員
死亡	50
重症(3週間以上入院)	212
中等症	1,505
軽症(入院なし)	3,310
合 計	5,077



4 年齢区分別搬送人員

年齢区分別の搬送人員をみると、高齢者が3,252人(前年比99人増)で全体の64.1%を占めています。また、「急病」のうち高齢者の占める割合は69.0%で、「一般負傷」のうち高齢者の占める割合は71.7%でした。

事故種別 年齢区分	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
新生児 (構成比:%)	2 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (1.4)	8 (0.2)
乳幼児 (構成比:%)	129 (3.7)	7 (1.8)	65 (8.6)	4 (0.9)	205 (4.0)
少年 (構成比:%)	98 (2.8)	56 (14.2)	33 (4.4)	49 (11.6)	236 (4.6)
成人 (構成比:%)	859 (24.5)	234 (59.5)	116 (15.3)	167 (39.5)	1,376 (27.1)
高齢者 (構成比:%)	2,417 (69.0)	96 (24.4)	542 (71.7)	197 (46.6)	3,252 (64.1)
合計 (構成比:%)	3,505 (100.0)	393 (100.0)	756 (100.0)	423 (100.0)	5,077 (100.0)

【備考】年齢区分は次によっている。

- 1 新生児 生後28日未満の者 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
 5 高齢者 満65歳以上の者

5 救命率の推移

(%)

区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
瀬戸市	50.0	50.0	40.0	16.7	16.7
愛知県	34.0	33.7	33.3	38.2	
全国	22.4	23.0	24.8	25.1	

※ 救命率とは、①目撃のある突然心臓停止である、②AEDが使用できる心電図波形(VF・VT)である救急患者を救急搬送し、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

※ 平成29年中の愛知県・全国の「救命率」は平成30年1月現在未発表

6 バイスタンダーCPR実施状況

(%)

項目	平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			
	発生 件数	実施 件数	実施率	発生 件数	実施 件数	実施率	発生 件数	実施 件数	実施率	発生 件数	実施 件数	実施率	発生 件数	実施 件数	実施率	
目撃	あり	52	37	71.2	41	26	63.4	51	36	70.6	44	28	63.6	51	22	43.1
	なし	77	57	74.0	88	59	67.0	87	61	70.1	78	51	65.4	85	59	69.4
合計	129	94	72.9	129	85	65.9	138	97	70.3	122	79	64.8	136	81	59.6	

※ バイスタンダーCPRとは「救急現場に居合わせた人が行う心肺蘇生法」をいう。

7 救急出動件数の推移

救急出動件数は、平成20年の4,464件に対し、平成29年には5,340件と876件(19.6%)増加しました。事故種別でみると、「交通事故」は減少傾向ですが「急病」と「一般負傷」が大きく増加しています。10年間の平均値と比較すると、「急病」が258件、「一般負傷」が102件それぞれ上回っています。

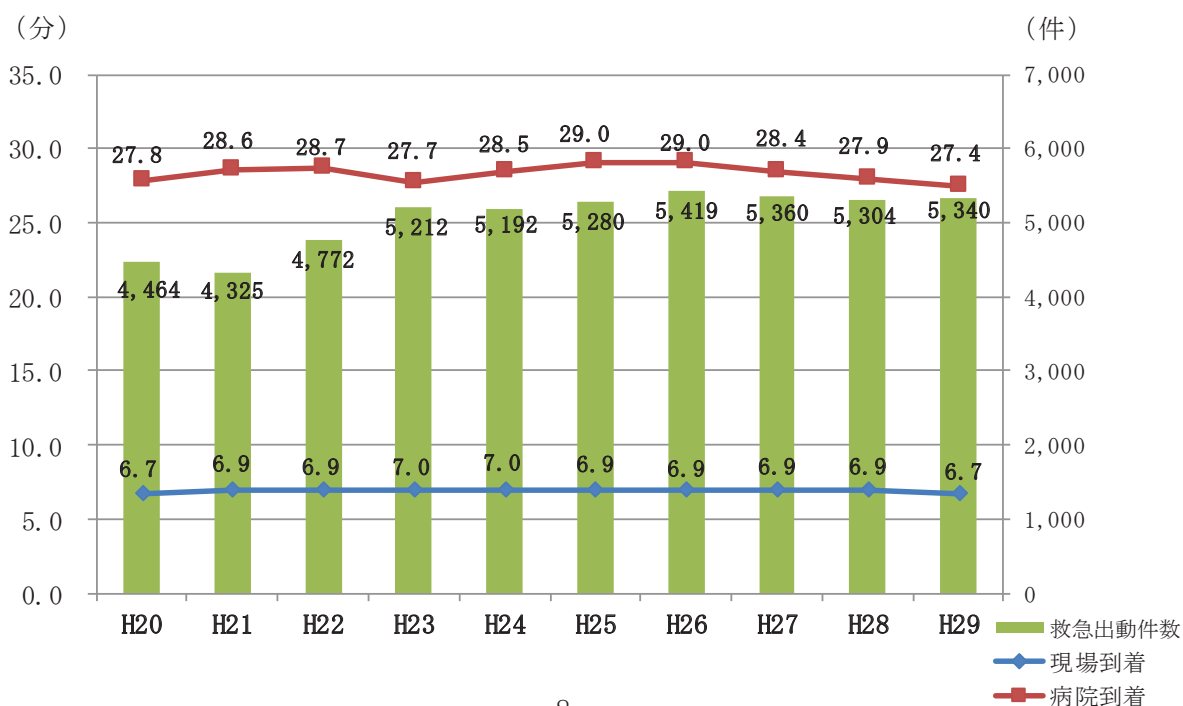
最近10年間の救急出動状況

区分 年 別	計	対前 年 増加 率 (%)	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
平成20年	4,464	▲5.4	9	0	0	465	48	30	577	22	53	2,981	279
平成21年	4,325	▲3.1	7	0	0	434	41	31	549	33	43	2,916	271
平成22年	4,772	10.3	1	0	2	479	53	38	613	22	52	3,164	348
平成23年	5,212	9.2	9	0	1	482	47	57	667	30	61	3,487	371
平成24年	5,192	▲0.4	2	0	0	437	58	32	685	33	46	3,482	417
平成25年	5,280	1.7	7	0	0	480	39	46	650	21	51	3,574	412
平成26年	5,419	2.6	5	0	0	472	35	35	785	16	36	3,625	410
平成27年	5,360	▲1.1	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	371
平成28年	5,304	▲1.0	5	0	0	452	60	44	754	12	43	3,624	310
平成29年	5,340	0.7	3	0	0	405	44	58	784	19	41	3,670	316

▲は減を示す

10年間平均	5,067	2.0	5	0	0	459	47	41	682	23	46	3,412	351
--------	-------	-----	---	---	---	-----	----	----	-----	----	----	-------	-----

最近10年間の救急出動件数及び現場・病院到着平均所要時間の推移



救助

救助出動件数 64 件
 (前年比 10件増)
 救助人員 21 人
 (前年比 5人減)



1 救助概要

救助出動件数は64件で、このうち、救助活動を実施した件数は26件、救助人員は21人でした。

事故種別でみると、「建物等による事故」が31件で最も多く全体の48.4%を占め、次いで「交通事故」が15件(23.4%)という状況でした。

前年に比べ「交通事故」は2件減少しましたが、「建物等による事故」は6件増加しました。

「その他の事故」は、転落3件などを含め15件発生しています。

月別救助件数

区分 月別	計	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
1月	6 (4)	0	1 (0)	1 (1)	0	0	4 (3)	0	0	0
2月	9 (3)	0	2 (0)	0	0	0	7 (3)	0	0	0
3月	4 (2)	0	1 (1)	0	0	0	1 (0)	0	0	2 (1)
4月	3 (3)	0	1 (1)	0	0	0	2 (2)	0	0	0
5月	10 (4)	0	3 (1)	0	0	0	3 (2)	1 (0)	0	3 (1)
6月	6 (2)	0	1 (1)	0	0	0	3 (1)	0	0	2 (0)
7月	2 (0)	0	2 (0)	0	0	0	0	0	0	0
8月	3 (0)	0	1 (0)	0	0	1 (0)	0	0	0	1 (0)
9月	7 (2)	0	2 (0)	0	0	0	3 (0)	0	0	2 (2)
10月	3 (3)	0	0	0	0	0	1 (1)	0	0	2 (2)
11月	3 (0)	0	0	0	0	0	2 (0)	0	0	1 (0)
12月	8 (3)	0	1 (0)	0	0	0	5 (2)	0	0	2 (1)
計	64 (26)	0 (0)	15 (4)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	31 (14)	1 (0)	0 (0)	15 (7)
救助人員	21	0	5	1	0	0	10	0	0	5
平成28年	54 (27)	1 (1)	17 (4)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	25 (16)	0 (0)	0 (0)	10 (5)
救助人員	26	2	4	0	0	1	14	0	0	5

【備考】()内は、救助活動件数を示す。

2 連区別救助出動件数

連区名	計	道泉	深川	古瀬戸	東明	祖母懐	陶原	長根	效範	水南	水野	西陵	原山台	萩山台	八幡台	品野	下品野	山口	本地	菱野	新郷	管外
出動件数	64	3	0	3	4	2	4	2	9	1	4	3	4	5	0	5	2	5	4	3	1	0

3 救助出動件数の推移

救助出動件数は、前年に比べ10件増加しました。

「建物等による事故」は平成27年の34件に次いで2番目に多い31件で、最近10年間の平均値と比較すると10件上回りました。

「交通事故」は最近10年間で最も少ない15件でした。

年別	区分	計	火災	交通事故	水難事故	自然風水災害等	機械による事故	よる建物等に	酸ガス及び	破裂事故	その他の
平成20年		51 (26)	3 (3)	20 (7)	0	0	0	14 (6)	1 (0)	0	13 (10)
平成21年		47 (23)	0	28 (11)	0	0	1 (1)	9 (5)	1 (1)	0	8 (5)
平成22年		48 (17)	1 (1)	19 (4)	2 (0)	0	2 (1)	10 (5)	1 (1)	0	13 (5)
平成23年		62 (32)	1 (1)	22 (9)	2 (2)	0	8 (3)	16 (10)	0	0	13 (7)
平成24年		71 (41)	2 (2)	22 (10)	1 (0)	0	4 (2)	23 (14)	0	0	19 (13)
平成25年		67 (30)	2 (2)	30 (10)	1 (1)	0	1 (1)	21 (14)	1 (0)	0	11 (2)
平成26年		71 (29)	0	30 (8)	0	0	1 (1)	23 (10)	0	0	17 (10)
平成27年		72 (39)	1 (1)	20 (8)	0	0	3 (2)	34 (20)	3 (2)	0	11 (6)
平成28年		54 (27)	1 (1)	17 (4)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	25 (16)	0 (0)	0 (0)	10 (5)
平成29年		64 (26)	0 (0)	15 (4)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	31 (14)	1 (0)	0 (0)	15 (7)
平均		61 (29)	1 (1)	22 (8)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	21 (11)	1 (0)	0 (0)	13 (7)

()内は、救助活動件数を示す。

《平成29年度全国统一防火標語》

火の用心
ことばを形に
習慣に



平成29年火災・救急・救助統計

編集 瀬戸市消防本部 消防課
発行 平成30年1月

〒489-0983 瀬戸市苗場町101
TEL 0561-85-0479
FAX 0561-21-6605

U R L ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/toukei-nenpou/>

E-mail ▶ shobohonbu@city.seto.lg.jp